

NPO法人

第89号

芦安ファンクラブ通信

南アルプス地域の自然を愛するすべての人達に対して、地域の人々との交流を通じた南アルプスの環境保全及び適正利用に関する事業を行い、もって、南アルプス市芦安地域の活性化に寄与する。

～芦安ファンクラブの理念～

特定非営利活動法人芦安ファンクラブ 事務局 南アルプス市芦安芦倉 1578
TEL 090-4135-3193 FAX 055-288-2722 HP <http://ashiyasu.com> メール mail@ashiyasu.com

芦安ファンクラブ春の房総・研修旅行

2026.2.28～3.1 芦安ファンクラブ 小澤 哲也

2月28日(土)、待ちに待った研修旅行。今年は、千葉・房総方面です。

芦安を7:30に出発の時はまだ肌寒く、房総は暖かいだろうと思いを巡らせました。事前の行程表がありました。当日、立派な冊子をいただき気分も上々、期待が膨らみました。今回の幹事は、吉沢夫妻と中島さんです。楽しく為になるプランを綿密に練り上げていただきました。感謝です。

10:30、あっという間に「海ほたる」に到着しました。展望デッキからの眺めは、快晴と相まって東京湾を一望でき、羽田空港の飛行機の多さにも目を奪われました。



海ほたるを出発し、次の昼食ポイントへ足早に繰り出しました。刺身など上等な食事を味わい、それから次の金谷へと向かいました。いかにも房総の春らしい「ぽかぽか」景色を車窓から楽しみました。

午後一、さあ、メインの「鋸山」(329m)です。なかでも有名なのは「地獄のぞき」です。個人的に昔から訪れたかった場所であり、念願叶いました。ここでは2名のガイドさんのお世話になりました。山本さんはシステムエンジニア、菊池さんは県職員とそれぞれ本職を持ちながら、鋸山を「日本遺産」に向けて努力を惜しまない活動をしています。エライと思います。ファンクラブの旅行では、この「ガイド」がいつも勉強になり「お手本」になります。



鋸山から切り出された石は、主に横浜港開発に利用されたそうです。1尺打ち付けで、はがした石は80キロ等々、石切場跡の石壁や百尺観音のスケールに圧倒されっぱなしでした。石壁を底からまっすぐに仰ぎ見ると、見えるではございませんか「地獄のぞき」が。そのときガイドさんが昔の写真を見せてくれました。なんと「地獄のぞき」は橋みたいに向いの石壁とつながっているじゃないですか。

程なくして「地獄のぞき」を見物しようとしたのですが大行列の渋滞により断念。しかし、ガイドさんの計らいで別の穴場で絶景を堪能しました。こっちもいいぞ！



次は日本寺への下り道へ。725年に開山され、境内は東京ドーム7個分というスケールにもかかわらず、初めてその存在・寺名を知りました。途中約1500体の羅漢をメインとする石像群に出くわします。最初はガイドさんの言葉をうんうんと聞いていましたが、その情報量に頭が疲れてきました。しかし、体はまだ元気です…。

そしてクライマックスは「薬師瑠璃光如来」大仏。大きいです。奈良・東大寺の盧舎那仏の総高18.18mに対し、日本寺の大仏の総高は31.05mと、日本最大の磨崖仏で原型は1783年の作だそうです。「地獄のぞき」の鋸山だけでない発見は驚きでした。



本日の宿「鴨川ヒルズリゾートホテル」(大理石で囲まれた内装)で楽しい宴会。食事も美味しゅうございました。



次の日は鹿野山神野寺。真言宗と聞いて格式高そうと思いましたが、聖徳太子によって開かれた関東最古の名刹というから驚嘆しました。初耳です。健康への感謝を述べ、おみくじを引き、天狗の鉄下駄を履いたりしました。



帰路は金谷港からフェリーで久里浜へ。フェリーから見る鋸山はまさに「のこぎり」の形状でした。たとえ短時間でも船旅は贅沢な気分してくれます。いいね！スタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。



山小屋通信

南アルプス市より業務委託されている3つの山小屋(白根御池小屋、長衛小屋、北岳山荘)の管理人から、各々の山小屋の魅力をご紹介します。

白根御池小屋

芦安ファンクラブ 吉澤斉大

こんにちは。芦安ファンクラブ・白根御池小屋の吉澤と申します。白根御池小屋ってどんなところ?という事で簡単にご紹介します!

山小屋は全国の色んな所にあつて、それぞれ工夫を凝らして運営をしています。

街の暮らしだとコンセントに繋がれば電気は使えて、蛇口からは水が出る、ガスコンロのスイッチを捻れば火はつきますよね。日常生活の中で当たり前に行っている事を、山小屋では全て自分達で準備と管理をこなす必要があります。

その中で水についてのお話です。

白根御池小屋の一番の魅力は豊富な水の恩恵による快適な空間と宿泊体験を提供できる事だと思います。

取水場所は小屋から広河原寄りに少し歩いた登山道に水が流れている沢があります。その沢の上流から取水、高低差を利用して小屋まで水が届きます。春先、入山して最初にする大きな仕事は沢地形に埋まった雪を掘り、取水口を設置する事から始まります。一度設置してしまえば楽だよねと思われがちですが、水と一緒に砂や葉など多くの物が運ばれてきますので、定期的にフィルターとの交換と清掃、貯水タンクの砂出し、清掃と管理に大変手間がかかります。配管内に空気が入るとうまく流れてきません。大雨の後に取水口に葉がつまり水が細くなるなど、トラブルは予期せぬタイミングで起こります。



しかし、豊富な水量のおかげで小屋では多くの水を利用する事ができ、館内トイレは水洗式であり、徹底的な清掃、厨房も一般的な飲食店と変わらないレベルで使えるので、美味しい珈琲や甘酒、ランチなどの提供をする事が出来ます。全ては水の恩恵によるものです。小屋でランチや珈琲の利用、給水をする時は山に感謝をして大事に使ってくれと嬉しいです。夏は山も暑いのでたくさん水分補給をお願いします!



水の話が長くなってしまいましたが、白根御池小屋は動植物も魅力のひとつです。

特に動物は多く、鳥、カエル、サンショウウオ、オコジョ、蝙蝠などがたくさん潜んでいます。カエルは2種類をよくみますが、小鳥は意外と多く色々な種類が時期を変えてたくさんくるので、スタッフの数名は双眼鏡片手に観察と種の同定に取り組んでいます。昨年はキクイタダキとミソサザイが印象的でした。そんなスタッフ目線での動植物の観察記録を談話室に展示していますので、宿泊された際は珈琲のお供にぜひ読んでみてください。また、私達は動物のプロではないので、新しい発見や詳しい知識をお持ちの方はぜひスタッフに教えてください! よろしくをお願いします。

稜線には南アルプスならではの雄大な景観がありますが、中腹の小屋でもたくさんの発見や魅力が詰まっていますので、ぜひお越しくださいませ。今年も皆様のお越しをスタッフ一同お待ちしております!

北岳山荘

芦安ファンクラブ 長田佳久

北岳山荘管理人の長田です。

北岳山荘で働かせてもらうようになって早十年。毎年毎年、半年間ろくに降りもせず、飽きずに山にいる理由はなんでしょう。まずは断トツで景観の良さがあります。未だ飽きずに日々の朝焼け・夕焼けに一喜一憂しています。小屋から開けた東側には富士山が。距離はあれど確かな存在感を持ってこれぞ日本の美というもの。良い具合に雲が多少出て朝焼けが決まれば一日も気分良く過ごせます。



日が出るまでは東側を眺めていますが、朝日が差し込み始めたなら今度は北側を眺めます。こちらは距離も近く日本第二の高峰北岳が目の前に。鋭利な山体に日が当たり色づく瞬間は、朝見ても昼見ても夕方だって何なら星明かりの夜でも良いのです。高々10年ですが、いまだ都度カメラ出して喜んでいる僕が言うのでこれはまず間違いありません。



春はキタダケソウの芽吹きを喜び、夏はライチョウに会いに中白根へ行き、秋はウラシマツツジとナナカマドは紅葉するか気を揉み、雪が降り始めれば北岳から間ノ岳の稜線を眺めに行く。いつの季節でも自然の景色には言葉を必要とせず感動できることが待っています。

そんな贅沢な場所にある北岳山荘ですが、もちろん環境は厳しいですし、台風が来ればたまに壁が飛んだりもします。気温が下がれば凍結のためトイレも使えなくなったり、なんてことも。お客様に快適に過ごしていただきたいと思って色々対策はしますが…まあそれも山ってことで。

周辺では、鹿の食害が増えていたり、雪が少なくなると高山植物の開花時期が昔より随分早くなったりと色々変わっているようです。昨年トラバース道にも防鹿柵が設置されるようになりました。鹿がいるのといないのでは植生が全く違ってしまふのですね。

変わらないもの・変わるもの・変えたくないもの、色々ありますが、毎日喜んで見てもらえる景色が残せるよう微力ながらできることはしたいと思います。

そして余談にはなりますが、安全が確保されて初めて自然を楽しむ余裕ができます。どんな時でも最後にこれを言わないと気が済まないのは職業柄ですね。

“どうぞご安全に。” 北岳山荘でお待ちしています。

長衛小屋

芦安ファンクラブ 千葉茂樹

長衛小屋は、戸台パーク発南アルプスクイーンズラインの終着点「北沢峠バス停」より約徒歩 10 分、標高 1980m に位置し、創業 96 年を迎える山小屋で、近隣では最大規模のキャンプ場を併設しています。

日本百名山の仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳に囲まれています。

仙丈ヶ岳では高山植物の保護活動により植生が回復傾向にあり、夏には多様な花々が登山者の目を楽しませてくれます。白根三山越しの富士山の美しさは多くの登山者を魅了しています。

いにしえより信仰の山として知られる甲斐駒ヶ岳は体力に必要な山ですが、頂上に点在する先人達の信仰の痕跡、花崗岩の白く輝く岩肌、遙か遠くの山並みなど、登頂の暁には格別な達成感が得られるでしょう。

長衛小屋から夜叉神峠までの縦走路「早川尾根」に位置する栗沢山は山梨百名山にも選定されており、その先のアサヨ峰は展望にも恵まれ、日帰り登山の人気が高まってきています。

また、長衛小屋の前を流れる北沢には近年減少が心配されているヤマトイワナが棲息し、その美しい魚体を求める釣り人も多く訪れます。

このように、登山のみならず溪流釣りの拠点ともなる長衛小屋にぜひお越しください。

ご利用お待ちしております。



芦安旧道整備作業 ～地域とともに歩む未来～

2025.11.24 芦安ファンクラブ 堀内 訓

こんにちは！今回は、芦安の旧道整備作業についてお話ししたいと思います。

このプロジェクトは、山梨県山岳会と芦安ファンクラブと地域住民の協力によって進められている素敵な取り組みです。特に、今回は小学生のお子さんたちも参加してくれたので、地域の皆さんが一丸となって自然環境を守り、未来の世代へとつなげる大切な活動になりました。

整備作業の主な目的は旧道をきれいにし、より多くの方々に利用してもらうことです。地域に伝わる歴史ある道を再生することで、観光客やハイカーの方々はもちろん、地域住民や子どもたちにも親しんでもらえる場所にしたいと思っています。道を歩くたびに見える美しい風景や、地域の自然を感じることで、多くの人々が心を癒されることでしょう。

さて、具体的な作業内容についてご紹介します。

まずは倒木処理。風や雪や雨で倒れた木々を片付けることは、安全で快適な通行を確保するためには欠かせません。参加者たちはチームを組んで協力し合い、重たい木を運び出す姿が見られました。小学生のお子さんたちも、力を合わせて作業を手伝い、「僕が持つから、あんまり重くないよ！」と自信たっぷりに取り組む様子がとても微笑ましかったです。

次に、旧道の魅力を引き立てるために橋を架ける作業にも取り組みました。この橋が完成したことにより、川を渡るのもスムーズになり、より多くの人々が気軽に旧道を歩くことができるようになりました。家族連れや友達同士でのハイキングにぴったりのスポットになることでしょう。



さらに、これらからは定期的な清掃活動も行っていると思っています。地域の皆さんと一緒にエリアのゴミ拾いや落ち葉掃き、草刈りを通じて、環境保全に努めていきます。美しい自然環境を次の世代に引き継ぐためには、少しの手間がとても大切です。地域の方々が「この場所は私たちの宝物」と思ってくれることが、子どもたちにも受け継がれていくことを願っています。

そして、イベントとしても、大人から子どもまで楽しめる「芦安旧道トレッキング」を計画していこうと思っています！地元の特産品で豚汁を作ったり、木の実を使ったワークショップ、さらにはその道を含んだ芦安地区歴史伝承学習会も考案中。このイベントを通じて、多くの人々が旧道の楽しさや魅力を感じてもらえれば嬉しい限りです。

さまざまな世代が力を合わせて進めているこのプロジェクトは、地域の絆を深めるだけでなく、未来に向けた大切な一歩です。ぜひ、あなたもこの活動に参加してみませんか？一緒に芦安の魅力を再発見し、共にこの地域を育てていきましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。お天気の良い日には、外に出て自然を楽しみながら、みんなで旧道を歩いてみるのも素晴らしい経験です。

さあ、一緒に芦安の旧道をきれいにし、多くの人々に楽しんでもらいましょう！



NPO法人芦安ファンクラブ

2026年 登山教室のご案内

南アルプスは、2014年にユネスコエコパークの認定を受け、豊かな自然環境を未来に引き継ぐモデル地域として様々な活動を展開しています。



回数	集合場所	目的地 / コース説明	登山口	難易度	申込期限
日数	開催日/集合時間/参加費		宿泊場所	特殊な装備 ガイド	
第85回	芦安ファンクラブ事務所	開山を迎えた残雪の北岳	広河原	中級者向き	6月19日 (金)
3日間 コース	6月27日(土) 28日(日)29日(月) 集合:午前8時30分 53,000円	一日目は白根御池小屋まで登ります。大樺沢大雪渓を登りつめて、残雪の美しい北岳山頂を目指します。キタダケソウやライチョウも観察できるかも！	白根御池小屋 北岳山荘	アイゼン ピッケル (8本爪以上) 担当 富山	
第86回	芦安ファンクラブ事務所	夏の甲斐駒ヶ岳 (6名まで)	北沢峠	中級者向き	8月7日 (金)
3日間 コース	8月15日(土) 16日(日)17日(月) 集合:午前9時45分 50,000円	駒津峰を越えて見える甲斐駒ヶ岳の雄姿は圧巻です。長衛小屋にゆったり2泊し、山の成り立ちや地形、長衛小屋の歴史も学べる3日間です。	長衛小屋	- 担当 岩間	
第87回	芦安ファンクラブ事務所	秋の仙丈ヶ岳 (6名まで)	北沢峠	初級者向き	9月18日 (金)
3日間 コース	9月26日(土) 27日(日)28日(月) 集合:午前9時45分 50,000円	秋の紅葉した仙丈ヶ岳の頂きを目指します。大きくなったライチョウのヒナたちの冬に備える姿を見ることも出来るかもしれません。長衛小屋では竹澤長衛さんと山小屋の歴史について学びます。	長衛小屋	チェーン スパイク 担当 望月	
第88回	芦安ファンクラブ事務所	語り部と歩く紅葉の夜叉神峠	夜叉神登山口	入門者向き	11月6日 (金)
日帰り	11月15日(日) 集合:午前9時30分 8,000円	高山帯の登山シーズンも終了し、標高の低いエリアは紅葉が美しい季節を迎えています。芦安地域に伝わる伝説や、地域の暮らしを学びながら語り部と歩くツアーです。	—	— 担当 中島・堀内	
第89回	芦安ファンクラブ事務所	語り部と歩く冬の芦安	瀬戸千段の滝入口	入門者向き	1月22日 (金)
日帰り	1月31日(日) 集合:午前9時30分 5,500円	集落内にある瀬戸千段の滝を見に行きましょう。気温が低くなれば凍った滝を見ることができます。地域の小正月の習わしや、水害の伝説と歴史を学ぶ一日です。	—	チェーン スパイク 担当 清水・中島	

※初日の昼食は、各自でご用意ください(第88回、89回についてはお弁当付きです)

■申し込み・問い合わせ先

NPO法人芦安ファンクラブ事務局 〒400-0241 山梨県南アルプス市芦安芦倉1578番地

Tel 090(4135)3193 Fax 055(288)2722

<http://ashiyasu.com/>

メール mail@ashiyasu.com

■申込方法 所定の申込用紙にご記入の上、FAX又はメールでお申込ください。

※トラブル回避のため電話での申込は受け付けません。※

主催 NPO法人芦安ファンクラブ 後援 南アルプスガイドクラブ

2026年度芦安ファンクラブ登山教室申込書

FAX : 055 - 288 - 2722

※申し込みは各人ごとをお願いします。※希望するコースに○をつけてください

第85回	3日間	6月27日(土)~29日(月)	開山を迎えた残雪の北岳
第86回	3日間	8月15日(土)~17日(月)	夏の甲斐駒ヶ岳(6名限定)
第87回	3日間	9月26日(土)~28日(月)	夏の仙丈ヶ岳(6名限定)
第88回	日帰り	11月15日(日)	語り部と歩く紅葉の夜叉神峠
第89回	日帰り	1月31日(日)	語り部と歩く冬の芦安

御同行者名 [] 計 名

ふりがな			生年月日	昭和・平成 令和	年	月	日
氏名							
住所	〒 -		年齢 性別	(年齢 歳) 男 ・ 女			
電話番号 FAX番号	自宅	【FAX】					
	携帯						
	緊急連絡先	【連絡者氏名】	【緊急連絡先の電話番号】 自宅/携帯				
メール アドレス	パソコン						
	携帯						
体力度	(自己判定にて○をしてください) 弱い やや弱い 普通 やや強い 強い						
健康状態							
山行履歴	◆登山歴 年 ◆昨年から1年前後の主な山行をご記入ください。(例)赤岳山頂まで 令和7年8月						
その他	◆芦安温泉施設での前泊を希望しますか? ※○をし、参加する開催回を記入してください (希望する【第 回】・希望しない) ※その他質問等ありましたら記入してください						

【注】申込みに際して、次の事項を遵守してください。

1. ガイドの指示や注意事項を守ってください。
2. 安全のため、コースの変更など予定を変更することがあります。
3. 健康管理は、自ら責任を持ち、体調を整えて参加してください。